

選ばれる日本に向けた、望ましい外国
人材受入れ制度とは？

2022.5.31 JPMIRAI

佐賀県国際交流協会 SPIRA 理事長 黒岩春地

④ 地域の役割

一 望ましい外国人材受入れに向
けて、地域にできること一

④ 地域の役割

一 望ましい外国人材受入れに向けて、地域にで
きること一

I 地域として行っている、技能実習生等に対す
るサポート

II 望ましい外国人材受入れ制度とは？（私案）

I-1 外国人総合相談窓口ーさが多文化共生センター



I-2-1 コロナワクチン接種のサポート



I-2-2コロナワクチン接種のサポート



I-3-1 外国人県民への災害時対応

外国人県民に向けた※多言語情報発信スタート (8/11)

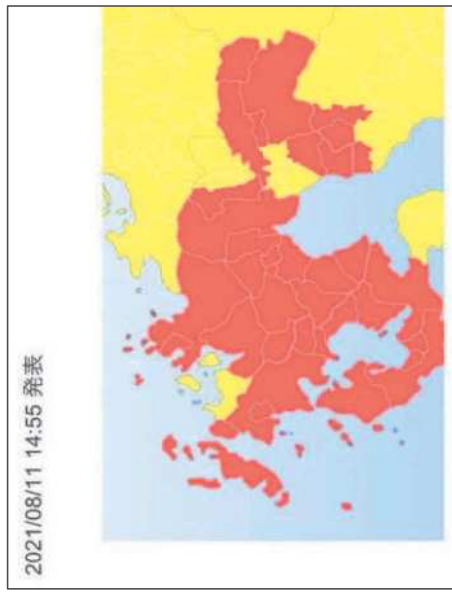
6

公益財団法人 佐賀県国際交流協会
佐賀県: Spira Sage 8月11日 11:46

大雨警報(おたけいまほう)・土砂災害(どしやさいがい)/Heavy Rain (landslide) Warning/
大雨警報(土石流/土石崩落) (토사 재해)/ peirngsten hujan lebat (banah longson)/ Cảnh báo mưa
to (cái hoa sát từ cát)/ Babata ta malakas na ulan (sakunang guho)/ दुर्घटन भविष्यवाणी (पारिरेत भविष्य)

8月(がつ)11日(にち)11: 33 AM

【日本語やさしいほんご】
佐賀県(さがけん)で、雨(あめ)がとても強(つよ)いです。山(やま)から岩(いわ)や泥水(どろみず)が
落(お)ちるかもしれません。危(あぶ)いですが、川(かわ)の近(ちか)くに(い)かないでく
ださい。注意 (ちゅうい) してください。



多言語情報発信：英語、中国語、韓国語、ベトナム語、インドネシア語、タガログ語、ネパール語、やさしい日本語の8言語で行うSPIRAの情報発信。
外国語7言語で、外国人県民の89.5%をカバー。
やさしい日本語を含めて**ほぼ9割以上**の外国人をカバーできている。

I-3-2

令和3年8月の佐賀豪雨災害 (2021.8.14)

50年に一度のこと？
10年に一度のこと？

→ **いいえ、毎年、起きています！**



レベル5

もはや避難する段階ではなく、
**「各自、自分の命を守る行動を
してください」とNHKテロップ
で流れる**

I-3-3

8/14

① 津波の被害状況 (津波) (10/10)

② 津波の被害状況 (津波) (10/10)

③ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

④ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

⑤ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

⑥ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

⑦ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

⑧ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

⑨ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

⑩ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

⑪ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

⑫ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

⑬ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

⑭ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

⑮ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

⑯ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

⑰ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

⑱ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

⑲ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

⑳ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

㉑ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

㉒ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

㉓ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

㉔ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

㉕ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

㉖ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

㉗ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

㉘ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

㉙ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

㉚ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

㉛ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

㉜ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

㉝ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

㉞ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

㉟ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

㊱ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

㊲ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

㊳ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

㊴ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

㊵ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

㊶ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

㊷ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

㊸ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

㊹ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

㊺ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

㊻ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

㊼ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

㊽ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

㊾ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

㊿ 津波の被害状況 (津波) (10/10)

I-4-1地域での国際交流の場づくり 一さが国際フェスタ一踊る留学生と技能実習生たち



I-4-2地域での国際交流の場づくり 地元まちづくり協議会と技能実習生の野菜づくり



I-5 地域日本語教室



Ⅱ 望ましい外国人材受入れ制度とは？ (地域からの視点：私案)

<現実問題として考えられる選択肢>

- A 技能実習制度をそのまま存続→ X
- B 技能実習制度の大幅修正 + 特定技能制度→ O
- C 技能実習制度廃止と
特定技能制度への移行→ △
- D 技能実習制度・特定技能制度に替わる
新たな制度の創設→ △

1 なぜBか？

- ① 人権侵害が問われる中でも、現行の技能実習制度の中で、受入れ企業と極めて良好な信頼関係を築いている例も多い
- ② 本来の目的である「人手不足企業の労働力確保」の点から、制度を一挙に失くした場合（CDのケース）の影響が大きい。（企業が成り立たない）

2 Bを選択した場合の大幅修正の提案

①監理団体の許可、計画認定、許可取り消しの手続きに、新たに県・政令市を関与させる

- ・ 制度上、技能実習機構が受入れ企業をチェックすることになっていくが、九州でも一か所で、マンパワー的に無理
- ・ 機構自体、実習生の信頼を失っている場合が多い（本来機構に相談すべきものが支援団体やSPIRAに持ち込まれる理由）
- ・ 現状、問題が持ち込まれても、県やSPIRAでは調査する権限もなく何もできない。最後は労働局に入ってもらうが、それは相談してきた実習生の望むことでないことが多い。（事を荒立てて仕事を失うことへの恐怖）

2 Bを選択した場合の大幅修正の提案

②実習生の受け入れを、制度目的に書かれた「国際貢献」の趣旨に合致したものに限定する。単なる金稼ぎだけの目的のものは、受け入れない。実習が国際貢献に結びつくものだけに限定する。

2 Bを選択した場合の大幅修正の提案

②のつづき

<受入れの例>

a 農業の子弟→農家で実習→帰国後、農業関連に従事
b 実習先の仕事とは無関係→縫製工場で実習→帰国後、衣料関連の仕事に従事
c “ ” → “ ” →帰国後、日本語教師として働く

※ a,bのようにいなくても、**せめて実習が活きるcの可能性**があるものに**限る**

技能実習制度の目的：技術移転及び発展を担う人づくりを通して、開発途上国への国際貢献を行う。**労働力の需給の調整の手段として行われてはならない。（技能実習法）**

2 Bを選択した場合の大幅修正の提案

③実習生の活動報告の項目に、「地元コミュニケーション活動への参加」を加える。

→ 草むしり、溝掃除、運動会など、実習生が地元のコミュニケーションと交流する機会を、実習生にも受け入れ企業側にも促すため

最後に・・・

SPIRAのスローガン

“ Free your heart of borders!”

心の国境をなくそう！